



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月11日

上場会社名 太陽誘電株式会社

上場取引所 東

コード番号 6976 URL <http://www.ty-top.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 登坂 正一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部次長 (氏名) 穴井 公之

TEL 03-6757-8310

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

2019年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	141,908	6.2	20,298	38.1	19,176	24.6	15,332	39.6
2019年3月期第2四半期	133,565	13.0	14,703	67.5	15,385	53.5	10,980	48.8

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 9,427百万円 (27.6%) 2019年3月期第2四半期 13,014百万円 (32.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	121.27	120.98
2019年3月期第2四半期	89.98	89.79

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	339,283	209,869	61.7	1,668.17
2019年3月期	328,861	205,953	62.5	1,609.72

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 209,362百万円 2019年3月期 205,500百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		10.00		11.00	21.00
2020年3月期		11.00			
2020年3月期(予想)				11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	290,000	5.7	38,000	7.8	37,000	7.7	25,000	5.5	195.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	130,218,481 株	2019年3月期	130,218,481 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	4,714,308 株	2019年3月期	2,555,996 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	126,427,341 株	2019年3月期2Q	122,031,492 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。決算説明会にて使用した資料等については、開催後速やかに当社のホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(重要な後発事象)	9
3. 補足情報	9
(1) 製品別売上高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)における当社グループを取り巻く経営環境は、世界経済全体として緩やかな回復が続いているもののアジアや欧州で弱い動きがみられました。先行きについては、引き続き世界経済全体の緩やかな回復が期待されますが、通商問題の動向、中国経済の先行き、為替動向などに留意が必要な状況です。

当社グループは、研究開発力や生産技術の強みを活かした最先端商品および高信頼性商品に加え、コア技術を活かしたソリューションビジネスを軸に、自動車、情報インフラ、産業機器、ヘルスケア、環境・エネルギーなどの注力市場を攻略することにより、中期目標の達成および経営ビジョンの実現を目指しています。また、収益性の向上や将来の部品需要の増加に応える体制を構築するため、ものづくり力の強化を進めています。生産能力の増強に加え、要素技術の高度化と生産工法の変革を進めることで、生産効率の向上を加速していきます。

電子化・電装化が進行する自動車向け、通信システムの高度化やIoTの進展に伴い高性能化が進む基地局通信装置・データセンタなどの情報インフラ向けでは、大型・高耐圧・高信頼の部品需要が増加いたしました。その結果、コンデンサの売上が大幅に拡大し、増収増益となりました。

当第2四半期連結累計期間の連結売上高は1,419億8百万円(前年同期比6.2%増)、営業利益は202億98百万円(前年同期比38.1%増)となりました。経常利益は、為替差損9億31百万円などにより191億76百万円(前年同期比24.6%増)となりました。また、固定資産除売却損や子会社のエルナー株式会社にかかる独占禁止法関連損失など特別損失7億35百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は153億32百万円(前年同期比39.6%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間における期中平均の為替レートは1米ドル109.26円と前年同期の平均為替レートである1米ドル109.30円と比べ0.04円の円高となりました。

製品別の売上高は次のとおりであります。

[コンデンサ]

積層セラミックコンデンサなどが含まれます。

当第2四半期連結累計期間は、情報機器向け、通信機器向け、自動車向け、情報インフラ・産業機器向けの売上が前年同期比で増加しました。その結果、売上高は878億12百万円(前年同期比9.5%増)となりました。

[フェライト及び応用製品]

巻線インダクタ、積層チップインダクタなどの各種インダクタ商品が含まれます。

当第2四半期連結累計期間は、情報機器向け、通信機器向け、情報インフラ・産業機器向けなどの売上が前年同期比で減少しました。その結果、売上高は193億76百万円(前年同期比8.4%減)となりました。

[複合デバイス]

モバイル通信用デバイス(FBAR/SAW)、電源モジュール、高周波モジュール、部品内蔵配線板「EOMIN™(イオミン)」、関係会社における実装事業などが含まれます。

当第2四半期連結累計期間は、モバイル通信用デバイス(FBAR/SAW)などの売上が前年同期比で減少したことにより、売上高は259億60百万円(前年同期比1.6%減)となりました。

[その他]

アルミニウム電解コンデンサ、エネルギーデバイスなどが含まれます。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、子会社のエルナー株式会社のアルミニウム電解コンデンサなどが加わり、87億59百万円(前年同期比49.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の変動状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に対して104億21百万円増加しました。そのうち流動資産は53億65百万円増加しており、主な要因は、受取手形及び売掛金の増加47億90百万円、仕掛品の増加31億82百万円、商品及び製品の減少19億51百万円、現金及び預金の減少6億55百万円であります。また、固定資産は50億56百万円増加しており、主な要因は、有形固定資産の増加67億98百万円、投資その他の資産の減少15億40百万円であります。

負債は65億6百万円増加しました。主な要因は、長期借入金の増加75億68百万円、その他流動負債の増加14億10百万円、短期借入金の減少29億52百万円であります。

純資産は39億15百万円増加しました。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは218億7百万円の収入(前年同期比54.7%増)となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益185億88百万円、減価償却費128億98百万円、売上債権の増加70億45百万円、たな卸資産の増加36億65百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは175億91百万円の支出(前年同期比7.0%増)となりました。主な要因は、固定資産の取得による支出202億35百万円、定期預金の減少22億99百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは8億59百万円の支出(前年同期は56億15百万円の収入)となりました。主な要因は、長期借入れによる収入90億円、自己株式の取得による支出40億1百万円、短期借入金の純減額29億49百万円であります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に対し18億83百万円増加し、535億37百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期連結業績予想につきましては、2019年5月13日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。なお、2019年10月に発生した台風19号の影響により、当社子会社の福島太陽誘電株式会社(福島県伊達市)の一部に浸水があり、被害が発生いたしました。今回の被害が連結業績に与える影響は現在調査中であり、現時点では合理的な算定が困難であります。つきましては、2020年3月期通期連結業績予想については、被害総額が判明し修正が必要となった場合に、改めて公表することといたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	56,430	55,775
受取手形及び売掛金	62,745	67,535
商品及び製品	21,065	19,114
仕掛品	25,907	29,090
原材料及び貯蔵品	13,974	14,529
その他	5,972	5,453
貸倒引当金	△238	△274
流動資産合計	185,858	191,223
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	94,768	95,596
機械装置及び運搬具	263,270	265,454
工具、器具及び備品	26,089	26,486
土地	11,022	10,965
建設仮勘定	10,468	14,348
減価償却累計額	△280,102	△280,536
有形固定資産合計	125,517	132,316
無形固定資産		
のれん	5,837	5,521
その他	1,219	1,333
無形固定資産合計	7,056	6,855
投資その他の資産		
投資有価証券	4,760	4,030
その他	6,001	5,181
貸倒引当金	△332	△323
投資その他の資産合計	10,428	8,888
固定資産合計	143,003	148,060
資産合計	328,861	339,283

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,031	25,660
短期借入金	23,152	20,200
1年内返済予定の長期借入金	2,477	2,663
未払法人税等	5,085	3,597
賞与引当金	4,167	5,128
役員賞与引当金	258	160
その他	21,825	23,236
流動負債合計	81,997	80,646
固定負債		
長期借入金	28,415	35,984
役員退職慰労引当金	132	48
退職給付に係る負債	3,742	3,683
その他	8,619	9,050
固定負債合計	40,910	48,767
負債合計	122,907	129,414
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,575	33,575
資本剰余金	49,904	49,903
利益剰余金	135,217	148,962
自己株式	△4,613	△8,591
株主資本合計	214,083	223,850
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,519	1,283
繰延ヘッジ損益	2	△40
為替換算調整勘定	△9,703	△15,350
退職給付に係る調整累計額	△401	△380
その他の包括利益累計額合計	△8,583	△14,487
新株予約権	453	506
純資産合計	205,953	209,869
負債純資産合計	328,861	339,283

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	133,565	141,908
売上原価	95,943	97,219
売上総利益	37,622	44,688
販売費及び一般管理費	22,918	24,390
営業利益	14,703	20,298
営業外収益		
受取利息	199	195
受取配当金	88	126
為替差益	630	-
助成金収入	285	77
その他	157	87
営業外収益合計	1,361	486
営業外費用		
支払利息	167	185
持分法による投資損失	208	277
為替差損	-	931
休止固定資産減価償却費	79	120
株式交付費	144	-
その他	78	94
営業外費用合計	679	1,608
経常利益	15,385	19,176
特別利益		
固定資産売却益	9	130
投資有価証券売却益	17	16
段階取得に係る差益	249	-
特別利益合計	275	147
特別損失		
固定資産除売却損	175	370
減損損失	6	10
投資有価証券評価損	52	17
事業構造改善費用	1,771	-
独占禁止法関連損失	93	327
その他	8	9
特別損失合計	2,108	735
税金等調整前四半期純利益	13,552	18,588
法人税、住民税及び事業税	3,121	3,209
法人税等調整額	△549	47
法人税等合計	2,572	3,256
四半期純利益	10,980	15,332
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,980	15,332

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	10,980	15,332
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	982	△235
繰延ヘッジ損益	△85	△42
為替換算調整勘定	1,141	△5,646
退職給付に係る調整額	△4	20
その他の包括利益合計	2,033	△5,904
四半期包括利益	13,014	9,427
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,014	9,427

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	13,552	18,588
減価償却費	12,527	12,898
減損損失	6	10
事業構造改善費用	1,771	-
独占禁止法関連損失	93	327
のれん償却額	157	315
貸倒引当金の増減額(△は減少)	65	38
賞与引当金の増減額(△は減少)	487	984
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△115	△97
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5	△81
受取利息及び受取配当金	△288	△322
支払利息	167	185
持分法による投資損益(△は益)	208	277
株式交付費	144	-
固定資産除売却損益(△は益)	166	240
投資有価証券売却損益(△は益)	△17	△11
段階取得に係る差損益(△は益)	△249	-
助成金収入	△132	△41
投資有価証券評価損益(△は益)	52	17
売上債権の増減額(△は増加)	△6,530	△7,045
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,477	△3,665
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,344	905
その他	787	3,239
小計	18,039	26,763
利息及び配当金の受取額	281	337
利息の支払額	△133	△215
独占禁止法関連損失の支払額	△2,472	△449
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,621	△4,629
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,093	21,807
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△21,672	△20,235
固定資産の売却による収入	19	218
定期預金の増減額(△は増加)	△393	2,299
投資有価証券の売却による収入	102	186
助成金の受取額	236	141
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	5,148	-
その他	123	△201
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,435	△17,591
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	922	△2,949
長期借入れによる収入	10,000	9,000
長期借入金の返済による支出	△3,948	△1,245
自己株式の取得による支出	△0	△4,001
配当金の支払額	△1,176	△1,398
リース債務の返済による支出	△52	△233
その他	△129	△30
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,615	△859
現金及び現金同等物に係る換算差額	714	△1,473
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,987	1,883
現金及び現金同等物の期首残高	43,837	51,654
現金及び現金同等物の四半期末残高	47,825	53,537

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用する在外子会社において、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用し、借手の会計処理として原則すべてのリースについて資産及び負債を計上しております。また、経過措置として認められている当該会計基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(重要な後発事象)

2019年10月に発生した台風19号の影響により、当社子会社の福島太陽誘電株式会社（福島県伊達市）の一部に浸水があり、被害が発生いたしました。年内には生産を再開し、早期の完全復旧に努めてまいります。今回の被害が連結業績に与える影響は現在調査中であり、現時点では合理的な算定が困難であります。

3. 補足情報

(1) 製品別売上高

製品区分	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)		増減	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	増減率 (%)
コンデンサ	80,168	60.0	87,812	61.9	7,643	9.5
フェライト及び応用製品	21,154	15.8	19,376	13.7	△1,777	△8.4
複合デバイス	26,369	19.7	25,960	18.3	△408	△1.6
その他	5,873	4.4	8,759	6.2	2,886	49.1
合計	133,565	100.0	141,908	100.0	8,343	6.2

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

上場会社名 : 太陽誘電株式会社
 コード番号 : 6976 (東証 第一部)
 代表者 : 代表取締役社長 登坂 正一
 問合せ窓口 : 経営企画本部 経理部
 TEL (03 - 6757 - 8310)

2020年3月期 第2四半期決算概要

(百万円未満切捨て)

[業績の概要]

科 目	期 別	前第2四半期 (2018.4.1~2018.9.30)		当第2四半期 (2019.4.1~2019.9.30)		増減	
		金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	増減率(%)
売上高		133,565	100.0	141,908	100.0	8,343	6.2
営業利益		14,703	11.0	20,298	14.3	5,595	38.1
経常利益		15,385	11.5	19,176	13.5	3,791	24.6
税引前当期純利益		13,552	10.1	18,588	13.1	5,036	37.2
親会社株主に帰属する当期純利益		10,980	8.2	15,332	10.8	4,351	39.6
包括利益		13,014	-	9,427	-	△3,586	△27.6

1株当たり当期純利益	89.98 円	121.27 円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	89.79 円	120.98 円

研究開発費	6,567 百万円	6,425 百万円	△142百万円	△2.2%
設備投資額	13,106 百万円	17,350 百万円	4,244百万円	32.4%
減価償却費	12,527 百万円	12,898 百万円	371百万円	3.0%

(注) 百分比は売上高比であります。

	前連結会計年度末 (2019.3.31)	当第2四半期 (2019.9.30)	増減	
			金額	増減率(%)
総資産	328,861 百万円	339,283 百万円	10,421百万円	3.2
純資産	205,953 百万円	209,869 百万円	3,915百万円	1.9
自己資本比率	62.5 %	61.7 %	△0.8ポイント	-
1株当たり純資産	1,609.72 円	1,668.17 円	58.45 円	3.6

[製品別売上高]

製品区分	前第2四半期 (2018.4.1~2018.9.30)		当第2四半期 (2019.4.1~2019.9.30)		増減	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	増減率(%)
コンデンサ	80,168	60.0	87,812	61.9	7,643	9.5
フェライト及び応用製品	21,154	15.8	19,376	13.7	△1,777	△8.4
複合デバイス	26,369	19.7	25,960	18.3	△408	△1.6
その他	5,873	4.4	8,759	6.2	2,886	49.1
合計	133,565	100.0	141,908	100.0	8,343	6.2

TAIYO YUDEN